

令和8年度  
大学院連合教職実践研究科  
教科研究開発高度化系  
入学者選抜2月選抜  
学力検査問題

小 論 文

注 意 事 項

1. 問題冊子は監督者の指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子の科目名と受験票に記載してある科目名が、一致しているか確認すること。
3. 問題冊子は表紙を除いて1ページ、下書用紙は2ページ、解答用紙は2ページとなっている。
4. 問題冊子等の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
5. 試験開始後、全ての解答用紙に必ず受験番号を記入すること。
6. 試験終了後、解答用紙は提出し、問題冊子は持ち帰ること。
7. その他については、監督者の指示に従うこと。

科目名	小論文
-----	-----

令和8年度  
大学院連合教職実践研究科  
教科研究開発高度化系  
入学者選抜2月選抜  
試験問題

( 1 枚の 1 )

① 次の文章を読んで以下の問いに答えなさい。

著作権の関係上、掲載できません。

出典：本田由紀『教育は何を評価してきたのか』（岩波新書、2020年）（一部改変）

問 下線部に示されたような資質や意識を子どもたちに身につけさせるために、公教育においてどのような授業実践を行うことが考えられるか。本文で示されている「日本社会が直面している重大な課題」①～⑥のうちから一つを選び、その課題に対応すると考える具体的な保育・授業実践の構想を示しなさい。なお、論ずるにあたって、想定する対象学年、教科等を設定し、その実践の結果として期待される子どもの姿も合わせて示すこと。

② 「理科や数学が楽しい」と思う子どもが減っているという、いわゆる「理数離れ」の原因について、自らの考えを述べ、さらに「理数離れ」の状況を改善するために学校園の現場においてどのような取り組みが有効と考えられるか、対象学年を例示して述べなさい。